

タイトル：四つ色のまちづくり、名付けて「ループシティ」

(提案の趣旨)

首都圏を除いては人口減少が全国どこの都市や地方においても悩みの種になっている。東京一極集中是正が叫ばれて久しいが地方創成が声高に叫ばれても傾向は進展するばかりである。昔なら、大企業の誘致や大規模集客施設の設置のほか、国際イベントの誘致などを図れば一時しのぎにすぎなかったにせよある程度の効果はあった。が、昨今は出生率そのものの減少や若者の地方離れ傾向もあってそうした取り組みでは効果は極めて薄い。やはり地元を足で置いた内発型のアイデアで起死回生を図るのが王道と言いたい。

(提案の内容)

回遊型のまちづくりを提案したい。名づけて「ループシティ」。英語のループ（往き来する）とピープル（人々）、シティ（街）の合成語である。人が往き来する、来たらリピートすることによってにぎやかさあふれる街をつくろうというものである。

(1) みどり色のアイデア：テーマは「健康」

ランニングコースを指定する。コースの距離によって地図に色分けして落とし、市民に公表する。加えて散歩コースを指定する。緑や花のある、眺めがよく風が感じられる、犬連れ散歩にちょうど良い、などごとにコースを地図に色分けして落とし、市民に公表する。

(2) だいたい色のアイデア：テーマは「飾る」

公園や公共施設の広場に花壇を設ける。植える花はその町や市の花を中心に馴染みの季節の花とする。県の花、隣接市町の花でもよく植えればきちんと表示する。また祭りや商店街の売り出し日などには旗や提灯を吊るして賑やかさを演出し隣接市町からも人を呼ぶ。

(3) みず色のアイデア：テーマは「おもてなし」

空家を積極的にクリエイターや外国人旅行者に貸し出すほか、廃校などは積極的に起業体験、農業体験、自然体験の拠点として活用を図る。

(4) むらさき色のアイデア：テーマは「しくみ」

直結する事業への積極的予算付けはもちろんであるが、間接的なものにも、例えば市町の広報板や案内板のほか、マンホールなどに市町の花や木を印したりして、随所にインスタ映えするまちづくりを実施し、ホームページにアップするなどしてPRを図る。

間接的なものへは総事業費の1パーセント以内で予算付けするなどしてシステムとして取り組んでいることを内外に知らせる。さらに四つ色のアイデアとして広く知られ、市町民意識が高まれば、関心の高い市町民を評定衆として認定し提案会議を設け継続させる。

(提案が実施された場合の効果)

四つ色で表現していることから誰も親しみがもて夢がわく。また内発型のまちづくり例として全国に知られそこで子育てをしたいなどの理由による移住者が期待できる。